

2009年3月期 第2四半期決算説明会 データブック

シダックス株式会社
2008年11月26日

平成21年3月期 第2四半期決算トピックス

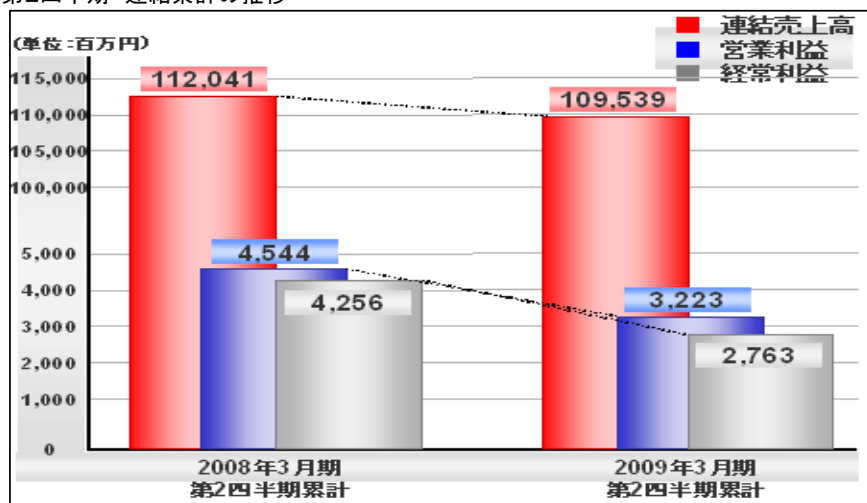
I. 連結経営成績

当第2四半期における経済環境は、原材料の高騰やサブプライム問題を起因とした金融危機の影響等により、景況感が急速に悪化しております。また、生活必需品を中心として一般消費関連の値上げは続いており、経済の先行き不透明感は一層深刻なものとなっております。

このような環境のもと、当社グループでは経営の効率化を図るとともに、カラオケケータイ会員拡大や事業所給食店舗の解約防止などによる売上維持拡大戦略、一元物流導入率アップなどの利益拡大戦略などの経営戦略を策定するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制を強化するために製造メーカー、お取引業者様と一体になった品質管理の向上に努めてまいりました。

しかしながら、売上高につきましては、レストランカラオケ事業において個人消費の冷え込みにより、客数・客単価とも減少したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期に比べ2.2%減少し1,095億円となりました。営業・経常利益においても、売上高減少の影響とグループ戦略による事業子会社のオフィス移転や営業推進体制の強化に伴う人員増などにより、前年同期比でマイナスとなり、営業利益は32億円、経常利益は27億円となりました。

■ 第2四半期 連結累計の推移



1. 第2四半期連結決算の概要

【売上高】

- ◆ 経済の行き先不透明感による個人消費の冷え込みにより、客数・客単価とも減少したため、レストランカラオケ事業で期初予想を14億円下回る。
- ◆ 撤退を視野に入れた赤字店舗の契約見直しや原材料価格高騰による契約単価交渉の遅れ及び収益性重視の選択的な新規契約交渉を行ったため、給食事業で期初予想を8億円下回る。

【営業利益】

- ◆ 販売費及び一般管理費の適正化を進めたが、売上高の減少を補うことができず、レストランカラオケ事業で期初予想を9億円下回る。
- ◆ 食材一元調達を進めたものの、原材料価格高騰の影響を顧客に完全転嫁することは難しく、給食事業で期初予想を4億円下回る。

【経常利益】

- ◆ 営業利益の減少と事業子会社のオフィス移転による一時費用発生。

2. 通期の見通し

- ◆ 平成21年3月期通期の連結業績見通しについては、期初発表数値からの変更はありません。

II. 大新東株式会社の完全子会社化（公開買付及び株式交換）

当社は、連結子会社である大新東株式会社の完全子会社化を目指して、平成20年6月2日から平成20年7月14日まで、大新東株式会社が発行する普通株式及び新株予約権を対象とする公開買付けを実施し、その後平成20年8月8日に締結した株式交換契約に基づき、株式交換日の平成20年10月22日に株式交換を行い、大新東株式会社を当社の完全子会社といたしました。

今後は、①人材交流の更なる活性化も含め、当社から一層迅速に適時適切なタイミングで、大胆かつ有効な経営資源の投入を受入れることが可能となること、②共有の成果責任体制を確立し、当社の全国の既存顧客基盤に対する大新東株式会社の営業活動を急速に加速させ、一層のシナジー効果が短期的に発揮できること、③大新東株式会社の株主構成の簡素化により、将来を見据えた機動的な経営判断が可能となること、等の様々なシナジー効果を最大限に活かし、当社グループの企業価値向上を目指してまいります。

Ⅲ. 第2四半期連結業績予想比較とセグメント別業績の増減説明

■ 連結業績予想対比

(単位:百万円)

	20年9月期 業績予想	20年9月期 実績	予実差額	比率
売上高	111,500	109,539	△ 1,960	△1.8%
営業利益	4,600	3,223	△ 1,376	△29.9%
経常利益	4,300	2,763	△ 1,536	△35.7%
四半期純利益	700	544	△ 155	△22.2%

■ セグメント別業績(一部加工)

(単位:百万円)

外部売上高	19年9月期	20年9月期	増減額	増減率
給食事業				
エスロジックス事業	3,327	3,419	91	2.8%
コントラクトフード事業	20,026	19,056	△ 970	△4.8%
メディカルフード事業	20,223	19,544	△ 679	△3.4%
計	43,577	42,020	△ 1,557	△3.6%
レストランカラオケ事業	30,648	29,465	△ 1,183	△3.9%
スペシャルティレストラン事業	12,314	11,689	△ 624	△5.1%
コンビニエンス中食事業	6,278	6,343	65	1.0%
トータルアウトソーシング事業	17,898	18,540	641	3.6%
その他の事業	1,323	1,479	156	11.8%
消去又は全社	—	—	—	—
外部売上高 計	112,041	109,539	△ 2,501	△2.2%

内部売上高	19年9月期	20年9月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	26,890	26,001	△ 889	△3.3%

(単位:百万円)

営業利益	19年9月期	20年9月期	増減額	増減率
給食事業				
エスロジックス事業	2,245	2,269	24	1.1%
コントラクトフード事業	1,116	902	△ 214	△19.2%
メディカルフード事業	△ 56	△ 10	46	82.4%
計	3,305	3,161	△ 143	△4.3%
レストランカラオケ事業	2,680	1,654	△ 1,025	△38.3%
スペシャルティレストラン事業	△ 282	△ 561	△ 278	△98.4%
コンビニエンス中食事業	△ 37	27	64	173.3%
トータルアウトソーシング事業	1,364	1,333	△ 30	△2.2%
その他事業	△ 301	58	360	119.5%
消去又は全社=HQコスト	△ 2,183	△ 2,452	△ 269	△12.3%
営業利益 計	4,544	3,223	△ 1,321	△29.1%

□ 当第2四半期の連結売上高は1,095億円(公表見通し対比1.8%減)となりました。収益面においては、営業利益は32億円(公表見通し対比29.9%減)となり、経常利益は27億円(公表見通し対比35.7%減)、四半期純利益は5億円(公表見通し対比22.2%減)となり、主要業績項目いずれも期初の公表業績見通しを下回る結果となりました。

□ レストランカラオケ事業においては、昨年より続く飲酒問題、ガソリン価格の高騰などの国内景気減速に伴う個人消費の冷え込みの影響を受け、客数(前年比2.4%減)・客単価(前年比1.5%減)ともに前年比減少となり、期初の売上高予想を14億円、営業利益予想を9億円下回る結果となりました。

□ エスロジックス事業・コントラクトフードサービス事業・メディカルフードサービス事業を併せた給食事業においても、食材一元調達進展は進展したものの、中国産食材問題や事故米の流通問題から、食に対する不安感、不信任が高まる状況の中、原材料価格高騰の影響を顧客に完全転嫁することは難しく、期初の売上高予想を8億円、営業利益予想を4億円下回る結果となりました。

IV. 連結貸借対照表の増減説明

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	20年3月期	20年9月期	増減額
現金及び預金	14,649	14,738	88
売上債権	13,985	14,047	61
その他流動資産	7,598	7,871	273
有形固定資産	32,081	32,030	△ 50
保証金等	11,787	12,077	289
のれん	6,485	15,382	8,896
その他固定資産・投資等	16,843	15,943	△ 899
資産計	103,432	112,091	8,659

(単位:百万円)

	20年3月期	20年9月期	増減額
仕入債務	9,340	9,504	164
借入金・社債	47,843	58,993	11,149
その他負債	20,635	20,368	△ 266
純資産	25,613	23,286	△ 2,326
自己資本比率	22.5%	20.6%	△ 1.9%

- 総資産は前期末に比べ86億円増加し1,120億円(前期末比8.4%増)となりました。また、自己資本比率は20.6%に低下しました。
流動資産は366億円と前期末に比べ微増でしたが、固定資産は子会社株式の追加取得によりのれんが88億円増加したこともあり、前期末に比べ82億円大幅に増加したため754億円となりました。
- 負債は前期末に比べ109億円増加し888億円(前期末比14.1%増)となりました。
流動負債は395億円と前期末に比べ微増でしたが、固定負債は大新東株式会社へのTOB実行などにより長期借入金が106億円増加したこともあり、前期末に比べ105億円大幅に増加したため492億円となりました。
- 純資産は前期末に比べ23億円減少し232億円(前期末比9.1%減)となりました。
純資産減少の主因は、子会社株式の追加取得により少数株主持分が21億円減少したこと及び剰余金の配当が5億円あったことなどによります。
以上の結果、当第2四半期末における自己資本比率は、前期末に比べ1.9ポイント減少し20.6%となりました。
今後は、大新東の株式TOB取得に伴い昨年来急増した有利子負債の圧縮に努めるとともに、収益性の向上を図り、経営資源の更なる効率配分の促進を進めてまいります。

V. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	19年9月期	20年9月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	1,891	3,155	1,264
投資活動キャッシュ・フロー	△ 831	△ 13,736	△ 12,904
財務活動キャッシュ・フロー	△ 3,970	10,992	14,962
現金・同等物	13,191	14,503	1,311

□ 営業活動の結果得られた資金は31億円となり、前年同期に比べ12億円増加となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が10億円減少したものの、仕入債務が13億円増加及び未払費用が7億円増加したことなどによります。

□ 投資活動の結果使用された資金は137億円となり、前年同期に比べ129億円増加となりました。

これは主に、子会社株式の取得による支出が114億円発生したこと及びレストランカラオケ店舗等の新規オープン及びリニューアル工事に伴う有形固定資産の取得による支出が10億円増加したことなどによります。

□ 財務活動の結果得られた資金は109億円となり、前年同期に比べ149億円増加となりました。

これは主に、大新東株式の追加取得等のために、長期借入れによる収入が157億円増加したことなどによります。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	19年9月期	20年3月期	20年9月期
自己資本比率(%)	28.8	22.5	20.6
時価ベースの自己資本比率(%)	26.0	19.6	14.1
債務償還年数(年)	13.9	5.4	9.4
インレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3.3	7.3	6.3

■ 有利子負債等(リース債務含む)残高の推移

(単位:百万円)

	19年9月期	20年9月期	増減額
借入金・社債等	52,650	59,477	6,827
未経過リース料期末残高相当額	14,595	11,803	△ 2,792
合計	67,246	71,281	4,034

□ 有利子負債等の残高は712億円となり、前中間期末に比べて40億円増加となりました。

当第2四半期では、子会社株式の追加取得のための資金調達を行ったため、借入金が増加しております。

VI. 平成21年3月期の通期連結業績予想

- 平成21年3月期通期の連結業績予想については、期初に発表した業績予想から変更はありません。

(単位:百万円)

	20年3月期 実績	21年3月期 業績予想	増減額
売上高	226,072	226,500	428
営業利益	11,209	11,500	291
経常利益	10,667	10,900	233
当期純利益	△ 10,039	4,000	14,039

■ 第3・第4四半期への施策

レストランカラオケ事業においては、①業績改善対策(新規出店・リニューアルの延期等)の実行、②大感謝フェアの実施及びケータイ会員の拡充によるカラオケ顧客の呼び込みにより、上期未達成分の挽回を図ってまいります。

エスロジックス事業・コントラクトフードサービス事業・メディカルフードサービス事業を併せた給食事業においては、一元物流導入率の大幅な引き上げによるスケールメリットを図り、収益性の向上を図ります。また、完全子会社化した大新東株式会社を軸としたトータルアウトソーシング事業がグループ全体の付加価値向上に寄与することから、新規顧客獲得に注力するとともに、更なるグループ力の向上を目指して全社挙げての徹底した販売費及び一般管理費の削減を図り、恒久的な費用削減効果を図る計画です。

Ⅶ. セグメント別店舗数推移表

07年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		79	4	16	10	6	13	128	9	1	5	7	5	10	165
	減少		3	4	4	7	4	6	28	6	7	7	39	13	68	168
	残	1,617	1,693	1,693	1,705	1,708	1,710	1,717	1,717	1,720	1,714	1,712	1,680	1,672	1,614	1,614
メディカル	増加		86	9	18	13	7	17	150	13	3	9	5	6	4	190
	減少		7	10	12	7	2	11	49	9	1	6	7	5	65	142
	残	928	1,007	1,006	1,012	1,018	1,023	1,029	1,029	1,033	1,035	1,038	1,036	1,037	976	976
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	減少		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	残	302	302	302	302	302	302	302	302	303	303	303	302	302	302	302
車両 管理台数	増加		330	23	36	33	27	32	481	39	31	46	14	15	15	641
	減少		161	12	18	52	16	23	282	39	20	26	31	32	29	459
	残	3,684	3,853	3,864	3,882	3,863	3,874	3,883	3,883	3,883	3,894	3,914	3,897	3,880	3,866	3,866
社会 管理人員	増加		727	46	33	51	33	49	939	60	19	65	20	9	50	1,162
	減少		231	49	16	42	21	25	384	63	19	31	20	11	28	556
	残	3,215	3,711	3,708	3,725	3,734	3,746	3,770	3,770	3,767	3,767	3,801	3,801	3,799	3,821	3,821
コンビニエンス中食	残	328						343							347	

08年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		50	6	4	4	3	5	72	4	2	1	1	1	0	81
	減少		6	2	3	8	4	10	33	5	7	28	7	10	67	157
	残	1,614	1,658	1,662	1,663	1,659	1,658	1,653	1,653	1,652	1,647	1,620	1,614	1,605	1,538	1,538
メディカル	増加		63	3	6	9	6	2	89	7	6	3	1	4	1	111
	減少		6	9	5	2	8	11	41	11	8	8	5	9	70	152
	残	976	1,033	1,027	1,028	1,035	1,033	1,024	1,024	1,020	1,018	1,013	1,009	1,004	935	935
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	減少		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	残	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	301	302	302	302
車両 管理台数	増加		294	23	22	40	27	19	425	43	30	27	26	10	6	567
	減少		242	17	34	32	19	32	376	36	21	28	21	18	31	531
	残	3,866	3,918	3,924	3,912	3,920	3,928	3,915	3,915	3,922	3,931	3,930	3,935	3,927	3,902	3,902
社会 管理人員	増加		872	33	20	56	30	58	1,069	121	25	12	29	9	59	1,324
	減少		367	17	12	22	5	50	473	49	48	105	36	41	36	788
	残	3,821	4,326	4,342	4,350	4,384	4,409	4,417	4,417	4,489	4,466	4,373	4,366	4,334	4,357	4,357
コンビニエンス中食	残	347						352							352	

09年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		47	7	2		2	1	59							
	減少		9	7	7	6	4	7	40							
	残	1,538	1,576	1,576	1,571	1,565	1,563	1,557	1,557							
メディカル	増加		39	2	2	2	1	3	49							
	減少		6	5	8	4	4	8	35							
	残	935	968	965	959	957	954	949	949							
レストランカラオケ	増加		0	0	1	2	0	1	4							
	減少		0	0	0	0	3	0	3							
	残	302	302	302	303	305	302	303	303							
車両 管理台数	増加		304	36	35	26	17	18	436							
	減少		239	31	52	42	27	23	414							
	残	3,902	3,967	3,972	3,955	3,939	3,929	3,924	3,924							
社会 管理人員	増加		1,106	61	102	50	47	42	1,408							
	減少		542	61	71	43	28	20	765							
	残	4,357	4,921	4,921	4,952	4,959	4,978	5,000	5,000							
コンビニエンス中食	残	352			358			367								

Ⅸ. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

07年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,958,028	4,800,411	4,283,626	5,059,274	5,618,381	4,708,497	29,428,216	4,454,454	4,391,879	7,338,688	6,201,528	4,370,888	5,704,035	61,889,688
客数(千人)		3,258	3,256	2,917	3,350	3,863	3,297	19,942	3,102	2,917	4,203	3,876	2,919	3,793	40,752
08年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		5,023,010	4,857,046	4,873,770	4,962,776	5,909,420	5,060,840	30,686,861	4,433,461	4,414,016	7,812,703	5,908,594	4,224,751	5,537,833	63,018,219
客数(千人)		3,193	3,135	3,091	3,192	3,875	3,350	19,837	2,912	2,782	4,160	3,553	2,770	3,652	39,667
09年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,767,765	5,010,133	4,416,644	4,810,008	5,950,085	4,552,766	29,507,400							29,507,400
客数(千人)		3,032	3,208	2,877	3,198	3,995	3,053	19,363							19,363